



私のかわいい同居犬

視力障害の植木さんは、外出時は息子さんが付添っていましたが、息子さんが中学一年生になった頃(昭和50年)に、最初の盲導犬シェパード「レディちゃん」、次にラブラドル「パルラちゃん」、そして3番目にラブラドル「アッチャン」と出会い、共に生活してきました。アッチャンと死別した時、「もう犬と暮らす事はない」と思っていたのですが、息子さんが動物病院の紹介で60頭程いる犬の中から小型犬のシーズーを見つけ、クリスマスの日突然プレゼントしてくれたそうです。

盲導犬はしつけをされてから御主人の元に来ますので、今まで子犬の世話をしたことはなかったため、生まれて4ヶ月の子犬の世話は大変だったとのこと。でも「自分がやらなければ」と具合が悪くても寝込んでいるわけにもいかず、子犬「ラッキー」の世話をしていくうちにかわいさも増してきたそうです。

ヘルパーさんにも良くなつき、しっぽを立て部屋の中を無邪気に走っています。今は「ラッキー」の成長を見守るのが楽しみだとおっしゃっていました。飼い主の愛情が注がれ、新たな発見があったり、大好きな“同居犬”がいるという喜びや、心の安らぎが、いつまでも元気で若いられる秘訣ですね。



Dayあさひ・事務所移転のお知らせ

ニューズレターの6月号にてお知らせしておりました「Dayあさひ」の移転が、12月3日に決まりました。翌4日には、地域の皆様にお披露目をし、5日から新生「Dayあさひ」の業務を開始致します。

これからは入浴も可能になり、来年1月からは順次土曜日の業務も開始していく予定です。

また、1週間後の12月10日には、事務所も移転します。電話・FAX番号の**局番が変更**になりますので、ご注意ください。

新事務所

住所: 〒241-0025 旭区四季美台 28-1

電話: 360-0131 *12月12日(月)より*

FAX: 369-0622



11月の句

三才の子方のあくび小春かな 昌子



子方(こかた)とあるから、能か歌舞伎の舞台なのだろう。小さい頃から稽古を積んで、芸を磨いてゆく世界である。三才といえば、初めて舞台に立ち演じたのかもしれない。作者には他に、「子方の紅き長袴」と詠んだ句があるので、その姿は可愛らしい。普段はやんちゃ盛りの男の子。役を勤めあげたあと、畏っていた舞台の上で、ふっと小さなあくびが一つ。あたたかな小春日和であった。

(榎本 選)